

平成25年度 第1回人権教育ミドルリーダー育成講座実施報告

平成25年5月29日(水)
人権・地域教育課

- 1 期日等 平成25年5月24日(金) 県立同和問題関係史料センター
- 2 参加者 受講者: 23名
- 3 日程 13:30~13:45 開講式(挨拶、趣旨説明)
13:45~14:15 アイス・ブレッキング
14:15~15:20 講義・演習「子どもの権利」
15:30~16:15 グループ討議「子どもの権利にかかわる学習」
16:15~16:30 各ウイングの打ち合わせ



4 事業実施内容(概要)

(1) アイス・ブレッキング

○ 名前(氏名の名)順に円状に並び、名前と所属、受講理由、好きなこと等を紹介。第1期受講者から、この講座が有意義でやりがいのあることなどが述べられた。次に、グループに分かれて、自分の名前の由来等を出し合い、グループ内の交流を深めた。

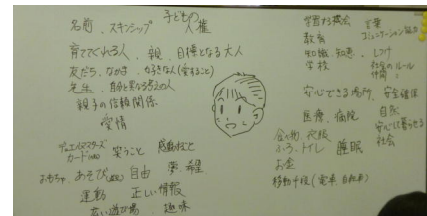
※ 平成25年度は、第1期受講者が4ウイング(情報ネットワーク、研究深化、記録・広報、研修企画)に分かれ、司会進行やアイスブレッキング、記録・広報などを行う。

(2) 講義・演習「子どもの権利」

○ 子どもが元気に成長するために必要なものを考えることから、すべての子どもが人権を有していることに気づくとともに、それを守る責任は大人にあることを学んだ。また、「子どもの権利条約」を参照することから、子どもの人権についての考察を深めた。参加者全員が各グループで熱心に意見を出し合い、それを全体場で意見交換した。

○ 子どもの成長に必要なもの(意見より一部抜粋)

- ◇ 名前、育ててくれる人、なかま、異なる考えの人
- ◇ 学習する機会、言葉、安心できる場所、社会のルール
- ◇ お金、医療、ふろ、睡眠、トイレ
- ◇ 遊び、適度な運動、食べ物、夢、希望、正しい情報



(3) グループ討議「子どもの権利にかかわる学習」

各学校において、「どのように『子どもの権利』についての学習を行っているか」、「『子どもの権利』を意識して、どのような指導を行っているのか」ということについて、グループ毎に意見交換を行った。社会科の学習だけではなく、「なかまとともに〈小学校1〉」や「なかま」を活用していることなどが出された。また、教材を使うこと以外にも、学級会や日々の生活の中に、権利を意識させる指導ができることも話し合われた。

○ 日々の生活の中で取り組む

- ◇ 学級会、集会が指導のチャンス
- ◇ 日々の指導に人権の視点を必ず取り入れる
- ◇ 意見は最後まで聞こう(授業を受ける権利)
- ◇ 学級の目標(ルール)づくり(参加する権利、意見を言う権利)

○ 授業の中で取り組む

[小学校]

ふわふわ言葉 ちくちく言葉、権利の熱気球、修学旅行の事前学習
自校バージョンの「子どもの権利条約」をつくる

[中学校]

生命の誕生、日本国憲法、「私たちの学級憲法」、「私たちの学校の生徒会憲章をつくろう」

